

# させぼ民報

2024年4月号外 定例佐世保市議会の報告を紹介します



Facebook



LINE



## 日本共産党佐世保市議会議員 小田のりあき 市議会報告

発行 日本共産党佐世保市委員会  
電話 0956-25-6811

小田のりあき市議は佐世保市議会3月定例会で包括的性教育とハラスメント対策について質問しました。

### 広がる性被害

## 包括的性教育の実施を



昨今、SNSを通じた10代の性被害などをはじめとして、性の問題が多岐にわたります。また、インターネットが普及し、特に、子どもや若者は、歪んだ性の情報、あからさまな性的情報に、過剰にさらされています。科学的な知識や人権意識を身につけられないまま、ゆがんだ情報に触れれば、予

期せぬ妊娠に直面したり、性暴力・性犯罪の被害者・加害者になってしまったりする危険が高まります。現在の子どものや若者が直面している多くの困難や、複雑化している社会の変化に対応していくには包括的性教育の役割がより重要になっています。

### 全市を挙げて 性教育の推進を

小田市議は「学校教育だけでなく、全市を挙げて性教育を推進していくことは重要です。そのためには、幼少期から成人まで継続的な指導を行う縦の連携、庁

### 包括的性教育とは？

従来の性や生殖などにとどまらず、ジェンダー平等や性の多様性、自己決定能力などを含む人権尊重を基本とした性教育のこと。現在では世界の性教育のスタンダードとなっており、「包括的」という言葉通り、セクシュアリティ(人間の性のあり方全般)を精神的、心理的、社会的、経済的、文化的、政治的なあらゆる側面で捉える。

内での情報共有や計画を推進する横の連携が必要だと考えます。このような環境を整えたうえで、人権やジェンダー観、多様性なども学ぶ包括的性教育をさらに推進していくべきではないか」と質問しました。

### 性教育の充実

#### 推進へ

宮島市長は「性教育については、子どもの年齢や発達段階に応じ、継続的に取り組むことが非常に重要なことであると認識しています。現在、性教育庁内連絡会において、幼児期から大学生等を対象にそれぞれの専門分野から実施している性教育について、各課の事業や健康課題等の情報共有や連携を図っています。なお、今年度から当連絡会に、市民生活部人権男女共同参画課も加わり、ジェンダー平等や性の多様性など、人権尊重も含めた視点も踏まえ、より効果的な事業実施

2面につづく